

ISSN 2188-2576

# 越谷保育専門学校研究紀要

第2号

平成25年度

学校法人ワタナベ学園 越谷保育専門学校

## 研究紀要によせて

越谷保育専門学校長 山崎 芙美夫

子育て環境をめぐる現状については急速に進行する少子化の問題がある一方で子育ての孤立化、子育ての放棄・虐待、地域の養育機能の低下など様々な問題が社会的に大きく取り上げられるようになりました。

保育者養成校においても以下に示すような大きなうねりがおきています。平成18年「教育基本法」の改正があり平成20年3月「幼稚園教育要領」ならびに「保育所保育指針」の改訂があり平成21年度から実施となりました。特に保育所保育指針においては、局長通知から厚生労働大臣の告示となり規範性を有する基準としての性格が明確化されました。平成23年1月中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」において「職業実践的な教育のための新たな枠組みを整備すること」が指摘され、これを受けるかたちで文部科学省は平成25年8月30日「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規定」を公布し施行されました。

もどりますが平成24年8月には幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため「子ども・子育て関連3法」が成立しました。この法律のポイントとして認定こども園制度の改善、認定こども園・幼稚園・保育所を通じた共通の給付及び小規模保育等への給付、地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実、子ども子育て会議の設置などがあげられます。「子ども・子育て支援新制度」の本格実施に向けて25年4月には子ども・子育て会議さらに25年5月には子ども・子育て基準検討部会が設置され国の推進体制が整備されつつあります。また、「幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）」などについても検討が続けられています。

このような大きな変革期にあって、本学では幼稚園教諭・保育士養成機関として一人ひとりの教員の力量向上を目指して研究活動をすすめてきました。これまで教員研修会の場合として年2回の「講師会」（平成25年度前期講師会講師として十文字学園女子大学人間生活学部教授平田智久氏・後期は日本スポーツ開発事業推進部部長勝田隆氏を予定）を開催してきました。平成25年度に「紀要委員会」を校務分掌に位置づけ、ここに「平成25年度研究紀要」として発刊することができましたことは大きな喜びであります。本学のミッション「学びつづける保育者」育成のため重点目標を定め（①実践力・専門性に優れた保育者②規律ある態度の育成③社会貢献する保育者）教育活動を積み重ねています。教員は毎日の校務の間で研究を進めてきました。内容においてはまだまだ不十分なものでありますが、今後さらに研鑽を積み重ね優れた教員の人材育成に少しでも貢献できれば幸いです。

これからも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 目 次

|   |                     |
|---|---------------------|
| 研究紀要によせて  | ・・・・・・・・山崎 英美夫      |
| 学校支援活動におけるコーディネーターの活動プロセスに関する考察<br>—東京都杉並区 A 小学校の学校支援本部の取り組みから— | ・・・・・・・・西村 彩恵・・・1   |
| 近代少女雑誌『少女界』の読者に関する研究<br>—投書欄「女子談話会」の投書を中心に—                     | ・・・・・・・・田中 卓也・・・10  |
| 保育者へのアプローチ—弾き語り曲でピアノの基礎を学ぶ—                                     | ・・・・・・・・井出 美佐子・・・18 |
| 保育者養成のための教育原理における系統主義と経験主義をめぐる諸問題                               | ・・・・・・・・曾田 裕司・・・27  |
| 絵本の読み聞かせにおける「ねらい」について<br>—加古里子の絵本を中心に—                          | ・・・・・・・・山崎 英二・・・35  |
| 幼児期の「遊び」で培う心の特性   | ・・・・・・・・高木 真理子・・・43 |
| 「保育内容表現 音楽」授業における学生の学習過程<br>—音楽と動きをテーマとした授業アンケート及び感想から—         | ・・・・・・・・鈴木 百合香・・・50 |
| 子どもたちの音に対する感じ方と表現についての一考察<br>—楽器あそびの授業実践を通して—                   | ・・・・・・・・渋谷 るり子・・・58 |
| 越谷保育専門学校におけるオペレッタの授業実践研究  | ・・・・・・・・渡邊 みつる・・・67 |
| 零歳児クラスの指導計画について<br>—クラス全体の月案の必要性—                               | ・・・・・・・・齋藤 信・・・75   |

## 越谷保育専門学校研究紀要規程

平成 25 年 6 月 11 日制定

(名称)

第 1 条 研究紀要の名称を「越谷保育専門学校研究紀要」とする。

(目的)

第 2 条 越谷保育専門学校（以下、「本校」）の教育・研究活動の成果を発表し、学問、教育、文化の発展に寄与すること。

(発行)

第 3 条 研究紀要は、原則として年 1 回発行する。

(編集)

第 4 条 研究紀要の編集は、本校紀要委員会が行う。

(投稿資格)

第 5 条 研究紀要の投稿者は、本校教職員（非常勤講師を含む）およびその他校長が認めた者とする。

(原稿の種類)

第 6 条 投稿できる原稿の種類は、論文、実践報告、その他とし、未発表のものに限る。

(執筆要領)

第 7 条 原稿の執筆要領については、別に定める。

(修正)

第 8 条 提出された原稿については、紀要委員会の判断によって、著者に修正を求めることがある。

附則

この規程は、平成 25 年 6 月 11 日から施行する。

## 執筆者（掲載順）

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 西村 彩恵  | 本校非常勤講師、放送大学非常勤講師             |
| 田中 卓也  | 本校非常勤講師、共栄大学准教授               |
| 井出 美佐子 | 本校専任教員                        |
| 曾田 裕司  | 本校専任教員                        |
| 山崎 英二  | 本校非常勤講師、                      |
| 高木 真理子 | 本校非常勤講師、東京理科大学、川村学園女子大学各非常勤講師 |
| 鈴木 百合香 | 本校専任教員                        |
| 渋谷 るり子 | 本校専任教員                        |
| 渡邊 みつる | 本校専任教員                        |
| 齋藤 信   | 本校専任教員                        |

### 越谷保育専門学校研究紀要 第2号

|       |  |
|-------|--|
| 発 行   | 平成 26 年 3 月 31 日   |
| 編集・発行 | 学校法人ワタナベ学園 越谷保育専門学校<br>〒343-0023<br>埼玉県越谷市東越谷 3-10-2<br>TEL 048-965-4111 |
| 印 刷   | 協立速記印刷株式会社<br>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-24<br>TEL 03-3234-5511（代表）       |